



# 井田山

< 川崎市立井田病院からのお知らせ >



発行責任者 小金井 勉  
川崎市中原区井田2-27-1  
ホームページ <http://www.city.kawasaki.jp/83byoin/ida/index.html>

第39号 平成22年1月15日発行  
編集 川崎市立井田病院 広報委員会  
電話 044-766-2188 (代)

**基本理念** 「井田病院は、自治体病院として、市民から信頼され、  
市民が安心してかかれる病院づくりを目指します。」

## 明けましておめでとうございます

井田病院院長 関田 恒二郎

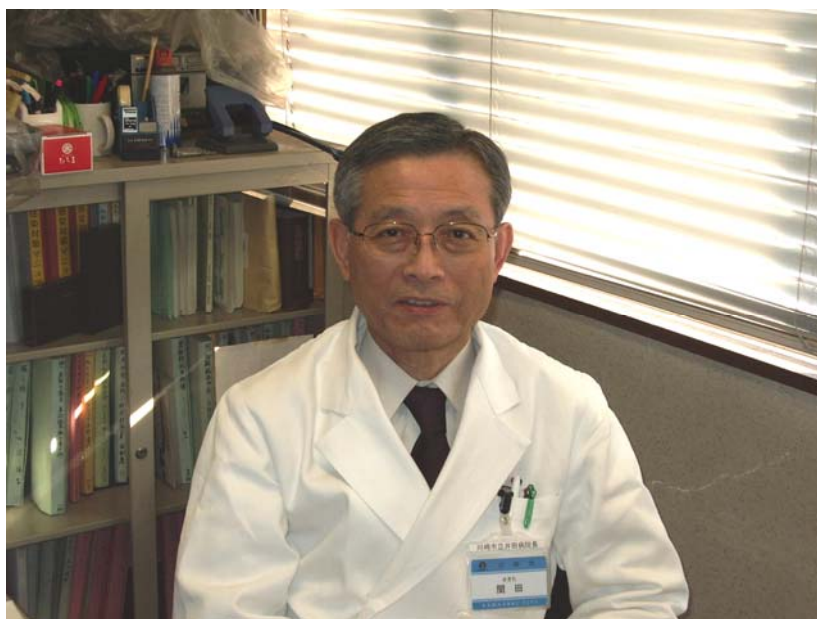
明けましておめでとうございます。政権交代後初めての新年ですが、デフからの脱出の見通しはいまだつきません。しかし、このような不況にあっても病院は、病める人達のために診療を続けています。

井田病院では業務の一部がコンピューター化され、却って不便に感じる事もありますが、職員も少し馴れてきました。

病棟建てかえは、一部旧病棟の取り壊しも終わり、意外に広く見える更地に、今では新しい建物の地下部分を建設中です。診療は残りの部分で、業務の縮小をせずに続行中です。集会のための部屋が少ないのは仕方ないとしても、駐車場がどうしても狭くなり、特に雨の日など、車で来院される方達に大変ご不便をおかけしています。

2月には病院機能評価機構の審査を受ける予定で多忙になりますが、これらさまざまな刺激で病院も少しずつ変化をしています。

職員一同協力して地域の需要に応え、市民のための病院をめざしていきたいと思いますので、一層のご理解とご支援を本年もよろしくお願い申し上げます。



## 《新型インフルエンザとのつきあい方》

リウマチ科部長 岡野 裕



昨年4月にメキシコで始まった「新型インフルエンザ」の流行は、急速に全世界へ拡がり、世界保健機関は6月12日に世界的流行病（パンデミック）と宣言しました。流行初期には、メキシコでの死亡率が極めて高いと報道されたため高い関心を集めました。

その後のデータの集積から新型インフルエンザの症状や経過は毎年流行する季節性インフルエンザと同様ということがわかってきました。特徴的な症状は、急に38℃以上の高熱が、のどの痛みや鼻水などのかぜ症状の前に出現することと、関節や筋肉の痛みを伴うことです。ご家庭や職場でインフルエンザ（もしくは発熱）の方と接触し、3日前後にこのような症状を認めたらインフルエンザにかかった可能性が高いと考えられます。



健康の成人なら無治療でも通常は発症後5日以内に回復します。しかしまれではありますが、急速に重症化し死亡した方も少なからずいることも明らかになっています。厚生労働省の報告（2009年12月15日現在）では、国内での新型インフルエンザによる死亡者数は116人で、その年齢分布をみると10歳未満と40歳以上に多くみられます。このうち、慢性の呼吸器疾患（喘息や閉塞性肺疾患）、心臓病、腎不全、重症な糖尿病、悪性腫瘍などの基礎疾患（持病）のある方が82人（約71%）と高率です。したがって、高齢者やこのような基礎疾患を持つなど重症化するリスクのある方は、早めの医療機関の受診が必要です。

また、日頃健康な方でも、3日以上発熱が続き症状が悪化している、呼吸が早く息苦しそうにしているなどの肺炎の徴候、呼びかけに反応がない、ひきつけ・痙攣など脳症の徴候、脈拍が1分間に150回以上、顔色が悪く、嘔吐や下痢など心筋炎や循環不全の徴候を認める場合は速やかな受診が必要です。

海外での発症が報告されるや否や、日本ではインフルエンザを海外から持ち込ませないために空港では「水際防御」が行われ、感染者だけでなくまだ発症していない「濃厚接触者」の隔離対策がとられました。咳エチケットが叫ばれ、薬局ではマスクが売り切れしました。しかし、これらの対策でも強い感染力を持つインフルエンザウイルスのまん延を防ぐことはできませんでした。感染しないためには人ごみなどを避けて感染者と接触しないことが一番ですが、社会生活を送る上で人と会わない訳にはいきません。

したがって、インフルエンザウイルスがもし体内へ入ってしまっても、それから身を守る免疫力を高めておくことが大切です。日頃から健康な生活を保ち、過労を避け睡眠を十分にとって休養をとることとバランスの良い食事で栄養をとることで。



予防接種（ワクチン）が、インフルエンザの予防対策の中心であることは、世界的に認められています。1月にはこれまで制限されていた健康な成人への接種も開始される見通しです。ワクチンの効果が現れるには接種後2週間を要しますので、早期の接種が勧められます。



インフルエンザとのかかわりは人の誕生と共に始まり、それ以降ウイルスは人の免疫から逃れるかのようにコロコロとその姿形を変え、周期的に猛威をふるってきました。残念ながら現代の医学ではインフルエンザウイルスから完全に逃れることも、撲滅することも出来ません。正しい知識に基づいて上手につきあう覚悟が必要です。

## 《井田病院改築工事について》

老朽化した井田病院の改築工事が平成21年7月からスタートしました。

皆様には、工事振動・騒音などにより、大変な御不便をおかけし、誠に申し訳ございません。

近隣住民の皆様に対する影響を最小限に抑えるため、土曜日の解体工事を休止したり、解体用重機を変更してみたり、様々な工夫のうえ施工しておりますので、御理解をお願い申し上げます。



(完成予想図：改築後の井田病院)

今回は改築工事の現状を御報告させていただきます。

### 【 解体工事 】



(写真：1号棟解体の様子)

1号棟諸室の移転業務終了後、井田病院1号棟と川崎赤十字血液センター建物の「解体工事」を開始しました。

左の写真は、重機を用いて、1号棟を解体している様子です。

入院中の多くの患者さんが、2号棟窓から解体工事を見物されていました。

### 【 地下掘削工事・山留（やまどめ）工事 】

解体工事の終了後、「地下掘削工事」と、「山留工事」（地下掘削工事を安全に施工するため、地面にH型鋼の柱を埋め込み、その柱と柱の間に壁（矢板）を差し込む工事）に入りました。

新病院の杭敷設工事と併せまして、来年4月末まで地下掘削工事が続きます。

今後とも、安全第一で工事を進めてまいりますので御協力をお願い申し上げます。

(問合せ先 病院局再編整備担当)



(写真：山留工事の様子)

## 市民公開講座のお知らせ

～知ってもらいたい「肺がん」の最新の治療～

講師 川崎市立井田病院 呼吸器外科医長 松谷 哲行医師



日時 平成22年2月4日(木)  
13時30分～15時 開場13時

場所 中原区役所 4階 第403号室

定員 当日先着順90名 参加費 無料

主催 川崎市立井田病院  
(地域がん診療連携拠点病院)

共催 中原区保健福祉センター地域保健福祉課

お問合せ先 川崎市立井田病院 がんセンター  
電話 044(766)2188

日本における病気の死亡原因の第一位はがんです。3人に1人はがんで亡くなり、中でも肺がんの死亡率は、全がんにおける死亡数のトップとなっています。

効果的な肺がんの予防は喫煙対策ですが、死亡数の減少には効果的な治療開発が欠かせません。今回は、先進的な肺がんの治療について、分かりやすくお話をさせていただきます。

## 《院内行事予定(1月以降)》

### 院内コンサート 3号棟1階玄関ホール

1月21日(木) 16時00分から17時00分「歌のコンサート」



【奈加 靖子さん】

### 院内展示会 3号棟1階薬局前ホール

1月22日(金)から2月18日(木) 写真展 「オーロラ展」 【小川 誠二さん】

2月19日(金)から3月18日(木) 押し花はがき展 道草の会 【石渡 登志子さん】

3月19日(金)から4月15日(木) 写真展 PHOTOクラブ写楽 【館野 皓庸さん】  
(問合せ先 市民交流委員会 小坂)

### 【編集後記】



新年にあたり、皆様におかれましては、「今年はこちらをやらう。今年こそ〇〇を。」といった新たな目標・決意をされていることと思います。

実り多き一年となりますよう、願っております。

井田病院も病院機能評価機構の審査がよいよ迫ってきました。

職員一同、知恵を出し合って市民の皆様にとりましてよりよい病院になるよう努力してまいります。

今年も井田病院をよろしく願いいたします。(K)